

【今年度の目標】 保護者・地域・学校が一体となって取り組むテーマ

令和6年5月31日

学校運営協議会では、コミュニティ・スクール（CS）として、保護者・地域・学校が一体となって子どもたちの育成にあたっていきたいと話し合い、毎年、皆様には子どもたちの育成に向けたテーマへの取組を呼びかけています。今年度は、新たに下記のテーマを目標といたします。

保護者・地域・学校が協力し合って、子どもたちには以下の目標への声掛けをしましょう

こだま学級の目標	低学年の目標	中学年の目標	高学年の目標
自分から元気なあいさつ、へんじをしよう！	笑顔であいさつしよう！	相手のことを思いやろう！～よく見よう、よく知ろう～	自分の言葉で伝えよう！
あいさつやへんじをすることはお互いが気持ちよく関わることにつながっていきます。また、「ありがとうございます」や「ごめんなさい」も相手を思いやる大切な言葉です。自分や相手の気持ちを考えて、自分から言葉で伝えていきましょう！ ・おはようございます。こんにちは。さようなら。 ・ありがとうございます。 ・名前を呼ばれたら元気な返事「はい！」	あいさつは日常生活の基本です。笑顔ですると、自分も相手も気分が上がりります。学校でも、家庭でも、地域でも笑顔であいさつをし合いましょう。 ・へんじ ・あいさつ ・ありがとうございます	相手はどう思うだろう？相手が喜ぶことは何だろう？相手の表情を見て、相手の気持ちに寄り添ってみましょう。 本当に相手に伝わるのは、誰かが考えた借り物の言葉ではなく、自分で考えた言葉です。 自分の思いを自分なりの形で表現してみましょう。	何でも簡単にコピーできてしまう時代だからこそ、自分の心にある言葉を大事にしてみましょう。 本当に相手に伝わるのは、誰かが考えた借り物の言葉ではなく、自分で考えた言葉です。

【あまぬま学びの約束】学校生活での基本ルール

- 1 授業の前 ① 休み時間のうちにトイレにいくなど用事をすませておきましょう
② 次の学習に必要なものを机の上に出しておきましょう
- 2 授業中 ① 授業の始まりには挨拶をしましょう。
・いすにすわったままでよい姿勢をしましょう（例）「よい姿勢をしてください（気をつけ）」「これから〇〇時間目の学習をはじめます」「よろしくお願ひします」
② 授業中
・発言をするときはだまって手をあげましょう
・名前を呼ばれたら「はい」と返事をして立ちましょう
・発言の最後は「～です」「～ます」で終わり、席につきましょう
・先生や友だちの話を聞く時は、だまって最後まで、しっかり聞きましょう
・正しい姿勢や、正しい鉛筆の持ち方で学習しましょう
③ 授業の終わりには挨拶をしましょう。
・いすにすわったままでよい姿勢をしましょう（例）「よい姿勢をしてください（気をつけ）」「これで〇〇時間目の勉強を終わります」「ありがとうございました」
- 3 ふでばこの中に入れておくもの
*けずった鉛筆5~6本 *赤鉛筆1本 *消しゴム1個 *定規 *名前ペン
*シャープペンシルは持ってこない。 *勉強と関係のないものはもってこない。
*高学年は、必要に応じて、筆箱に入るだけの色ペンをもってきてよい。
- 4 道具箱の中にかならず入れておくもの
*のり *色鉛筆 *はさみ *セロハンテープ
- 5 タブレットケースの中に入れておくもの
*タッチペン *有線イヤフォン



令和6年度「天沼小学校がめざす教育」のご紹介

杉並区立天沼小学校運営協議会

会長 渡部 公威

杉並区立天沼小学校

校長 薩摩 博之

天沼小学校がめざす教育

子ども主体の学びを通したワクワクする学校づくり

家庭・地域との連携を通して、子ども主体の学びを進めることで
自分たちの学校・地域に愛着と誇りをもち
夢を切り拓く子どもを育てることをめざしていきます

天沼小学校は、保護者・地域の人たち※Ⅰ・学校※Ⅱがともに知恵を出し合い、協働することで、よりよい学校づくりを進めるコミュニティ・スクール（CS）です。（詳しくは「もっと知りたい！天沼小の取組」最終頁をご覧ください。）

コミュニティ・スクール（CS）は、学校運営協議会が中心となっています。
そのため、学校運営協議会では、今年度の「天沼小学校がめざす教育」を皆様にご理解いただくための紹介を作成しました。この内容をご確認いただき、一年間、本校の教育活動と学校運営へのご参加・ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

また、裏面には、保護者・地域・学校が一体となって子どもたちの育成にあたっていきたいと考え、皆様と共に取り組みたいテーマ「今年度の目標」を提案しています。ぜひ一緒に取り組んでいきましょう。

※Ⅰ 以下「地域」とする。 ※Ⅱ 校長・教員・職員の総称とする。

令和6年度 天沼小学校がめざす教育

今年度は、昨年度の「ワクワクする学校づくり」という方針を一步進め、子ども主体の学びを通したワクワクする学校づくりの推進を方針として設定しました。そのため

「子ども主体の学び」と「家庭・地域との連携」を大きな柱と位置づけています。

学校と家庭・地域とが連携し、子どもの手助けをすることで、子どもの主体性を引き出すように取り組んでいきます。

この「天沼小学校がめざす教育」は、昨年度の学校評価の結果を踏まえ、今年度の天沼小学校の取組を皆様に分かりやすくご紹介するために、学校運営協議会で協議し「23のポイント」にまとめたものです。

学校評価アンケート調査 「みんなの天小アンケート」

毎年実施している「学校評価アンケート」は、今年度より、名称を「みんなの天小アンケート」に変更いたします。

学校運営協議会では平成23年度より独自の「学校評価」を作成し、皆様のご意見を集めています。これは、校長の「学校経営方針」に基づく、特色ある教育活動や重点とする指導事項について、児童・保護者・地域・学校へのアンケート調査を実施し、その結果を受けて一年間の振り返りを行い、次年度の学校運営に生かしていくという取組です。

この「天沼小学校がめざす教育」に基づき進める教育活動について、「みんなの天小アンケート（令和6年12月を予定）」により皆様の声としてご評価ください。

「子どもの主体性を引き出す」

1 分かる取組

基礎的な学力の習慣・定着に取り組んでいきます。

1 「あまぬま学びの約束」の実践

学校生活の基本ルールを身につけ、学習や運動に集中できる環境づくりをめざします。

2 すべての教育活動での言語活動の充実

コミュニケーションの基本となる「聞く」「話す」「読む」「書く」をしっかりと身につけます。

3 課題解決学習の推進

子どもの「自己選択・自己決定」を大切にした課題解決学習を進めていきます。

4 個に応じた学習指導の実施

学年や発達段階、理解のスピードに合わせた習熟度別少人数指導等で一人ひとりの「やる気」を引き出します。

5 教員の専門性の向上と、それを生かした指導の充実

理科・音楽・図工・英語などでは、専門の教員が子どもたちの好奇心を高める指導を行います。

6 基礎学力定着のための取組

「チャレンジタイム」などを通じて、学習した基本部分の再確認や振り返りを進めていきます。

2 人とかかわる取組

豊かな人間性と地域社会の一員としての自覚を育成します。

7 規範意識の醸成

子どもたちの成長ステージに合わせた生活態度や、社会に通用する判断力を身につけます。

8 地域に愛着と誇りをもつ子どもを育てる取組

体験学習や異世代交流などを通じて、天沼地域の一員としての自覚を育みます。

9 さまざまな人とかかわって生きる喜びを感じさせる取組（インクルーシブな心の育成）

共に生きるすべての人たちと認め合い、互いに思いやり、尊重し合う心を育て、豊かな社会性を養います。

3 元気に育つ取組

児童一人ひとりの心と体の健康づくりに力を注いでいきます。

10 体力の向上と健康の増進

体育の授業や朝遊び、放課後、土曜日の活動などを通じて、「心と体の健康づくり」を進めます。

11 食育の推進

年間200回余の給食を通じて健康な体を作り、食べる喜びを実感できる取組を行います。

12 かかわる力の育成

時程の工夫等による休み時間拡大を通して子ども同士のかかわる力を育てていきます。

13 スクールカウンセラー等との連携を通じた心の安定を図る取組

必要と感じた時に誰でも気軽に、担任・養護教諭ほか、スクールカウンセラーにも相談できる環境を整備します。

～子ども主体の学びを通した ワクワクする学校づくり

を大切にした取組・体験・交流

4 体験・交流

子どもたちが「将来社会に出て生きる力」を育てていきます。また、さまざまな体験学習を実施し、特色ある教育活動に取り組んでいきます。

14 読書活動の充実

本に親しみ、読書への関心を高めるとともに、学校図書館は授業をサポートする学習・情報センターとしての様々な取組を、学校司書と共に進めます。

15 地域と連携した体験的なキャリア教育の実施

天沼小のキャリア教育は、学齢に応じて系統的に取り組んでいきます。

16 「ほんもの」に触れる多様な活動

多彩なゲストティーチャーの協力のもとで、日本の伝統・文化理解教育を通して、自国の文化に愛着をもち、多様な文化も尊重できる素地を養います。

17 ICTを活用した学習活動の推進

タブレット端末の積極利用や電子黒板・デジタル教科書の活用など、ICTを活用した先進の取組を推し進めると同時に、情報モラル教育にも力を入れます。

18 天沼中学校区における小中連携教育活動（AKA）の取組

天沼中・沓掛小との三校合同教員研修や、児童生徒の交流学習などを通じて連携を行い、取組を進めていきます。

19 近隣の幼稚園・保育園と連携した「わくわく交流プロジェクト」の取組

幼保小連携の取組として、学校案内や読書活動などを通じた園児たちとの交流活動を行います。



家庭・地域との連携を推進・進化

安定した学校運営を実現していきます。

20 学校施設の安全、防犯、防災への取組

避難訓練やセーフティ教室を通じて、万が一の時に自分で身を守れる力を身につけます。

21 迅速かつ的確な情報の発信

totoruや学校HPを通じて、情報発信・情報公開を積極的に進めています。

22 学校支援本部（あまぬまワンダラーズ（AW））の協力による教育活動の実施

学校支援本部との協働のもと、天沼小ならではの多彩な教育活動を推し進めます。

23 「コミュニティ・スクール（地域運営学校（CS））」としての学校運営の進化

子ども・保護者・地域の人たち、教職員等のさまざまな声をもとに「地域と共にある学校」としての取組をしっかりと進めていきます。